

## 大量のドラム缶への充填

## 適用範囲

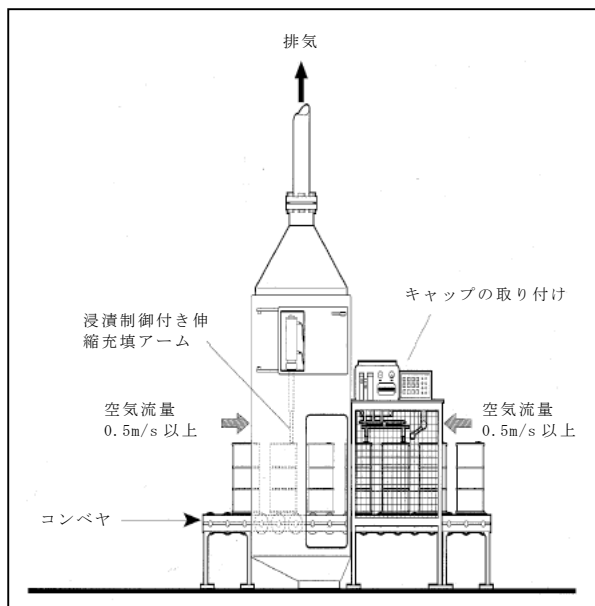
本作業指針シートは ILO 化学物質管理ツールキットの一部で、管理段階 3 が適用されるときに使用する。本作業指針シートは、大量のドラム缶に液体を充填するときの規範および化学物質ばく露を防止するために従わなければならない注意事項を示す。すべての規範と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全上の注意事項を参照すること。本作業指針シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他の危険管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために、本作業指針シートを使ってはならない。

## 作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

## 設計と装置

- 換気の良い場所に装置を設置すること。



- 掃除と保守のやりやすさを考慮して、装置を設計すること。
- ドラム缶への充填作業とキャップの取り付け作業は、できる限り囲いの中で行うこと。
- 開口部はすべて、できるだけ小さくし、コンベヤと接する入口と出口にカーテンを取り付けること。
- 換気を十分に行うために、開口部の流入空気流速はすべて 0.5m/s 以上とする。
- ロードセルまたは流量計を使って、過充填を防ぐこと。
- 漏れ受けが充填アームに取り付けられているか確認すること。

ているか確認すること。

- 充填領域に漏れ溜めを設けること。

- 十分な明るさを確保すること。
- 引火性の液体を扱う場合は、全電気機器が防爆構造になっていること、および全装置が適切に固定され確実にアースされていることを確認すること。
- 扉、窓、および吸気口から離れた安全な場所に排気すること。